見本

2013年度群馬大学教育学部社会専攻推薦入試

小論文問題

問題　1992年にブラジルのリオデジャネイロで「国連環境開発会議（地球サミット）」が開催されて以降、「気候変動枠組条約」が採択されるなど、地球環境問題解決のための具体的な取り組みについて国際的な場で話し合われてきた。たとえば、1997年には「地球温暖化防止京都会議」が開かれ、温室効果ガス排出削減を先進国に義務づける「京都議定書」が採択された。そして、2012年は「地球サミット」が開催されてからちょうど20年の節目にあたり、この年の6月に「国連持続可能な開発会議（リオ＋20）」が開催された。

しかしながら、現在も温室効果ガスの排出削減をめぐって、先進国と途上国との間で利害対立が続いており、新たな枠組みが求められている状況にある。

このことについて、先進国と途上国それぞれの立場の主張内容を記し、解決のためのあなたの考えを述べなさい。（800字程度）